

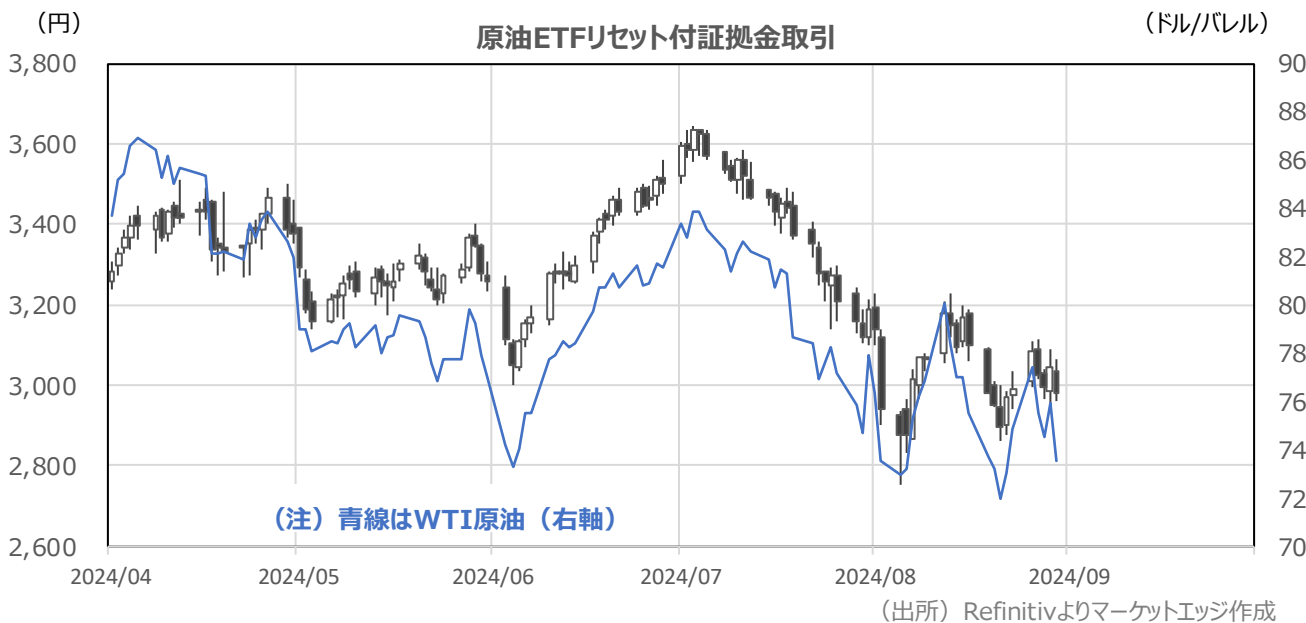
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



リビア減産で一時急伸も、戻りは売られる

NY原油先物相場は、1バレル=77.60ドルまで急伸した後、73ドル台中盤まで軟化する展開になった。週明け直後の取引では、1) イスラエルとハマスの停戦協議決裂、2) イスラエルとヒズボラの大規模な軍事衝突、3) リビアの生産停止観測などを手掛かりに買いが膨らむ展開になった。その後は実際にリビア産原油の生産縮小が報告されているが、原油相場を更に押し上げる動きは見送られ、前週比ではマイナス圏まで沈んでいる。根強い需要不安もあり、供給不安を手掛かりとした本格的な上昇再開は見送られた。

リビア東部勢力は、原油生産・出荷の停止方針を示した。原油売却収入を管理する中央銀行総裁人事を巡って暫定政権との対立が激化し、原油生産停止という圧力を掛けた形になる。実際にリビア国営石油会社 (NOC) は8月28日時点の産油量が日量59.1万バレルと、通常時の120万バレル水準から大きく落ち込んだことを報告している。Reutersは29日時点で日量70万バレルの生産喪失が発生と報じている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (8月23日時点) は、原油が前週85万バレル減、ガソリンが220万バレル増、石油精製品が28万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

行楽需要一服で戻り売り優勢、リビア供給動向には要注意

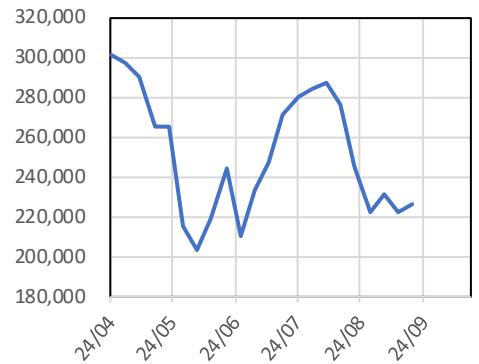
リビアや中東情勢の不安定化で突発的な上昇リスクを抱えるが、戻り売り優勢の地合が続く見通し。80ドル台へのレンジ切り上げは難しく、70ドル台前半から中盤で上値の重い展開が続きやすい。

リビアに関しては、政治判断で原油生産を止めている状況のため、先行きの見通しは立ちづらい。中央銀行総裁人事などを巡る東西政治勢力の対立が緩和・解消されると、早期に生産が正常化する可能性がある。一方で、数週間や数カ月といった期間で生産停止が続く可能性もある。最大で日量100万バレル規模の生産が喪失される可能性があるため、原油相場もリビア情勢によって短期的には上下双方に大きく揺れ動く可能性がある。

しかし、夏の行楽シーズンも終わり、これから需要端境期に向かうことになる。米経済が想定以上の底固さを見せていることはポジティブだが、中国の石油需要環境は急激に悪化している。景気減速に加えて、電気自動車（EV）普及の影響もあり、世界の石油需要拡大をけん引する能力を失いつつある。こうした状況でガソリンやジェット燃料などの行楽需要が喪失されると、足元ではタイト感も目立つ原油需給が、一気に緩和に向かう可能性が高まる。月初とあって米中経済指標の数値にも注意が必要だが、中国経済の減速と行楽シーズンの終了による、需要不安の上値圧迫が続こう。

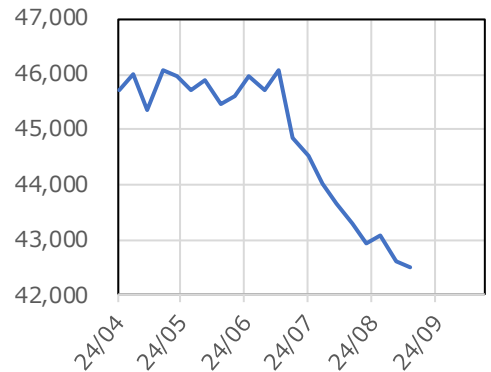
加えて、石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産縮小（＝増産）が10月から予定通りに実施される可能性が高いこともネガティブ。原油相場の値位置は切り下がっているが、関係国からは減産縮小計画の見直しは必要ないとの発言が目立つ。リビアの生産動向にも依存する見通しだが、10月以降の需給緩和リスクは依然として高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



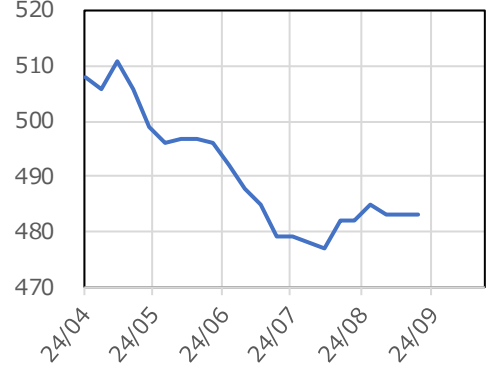
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

